



桑の緑

小坂小学校 学校便り
令和4年2月4日
文責：校長 江上 知男



番組視聴の様子(1年)

「情報モラル」が必要です！

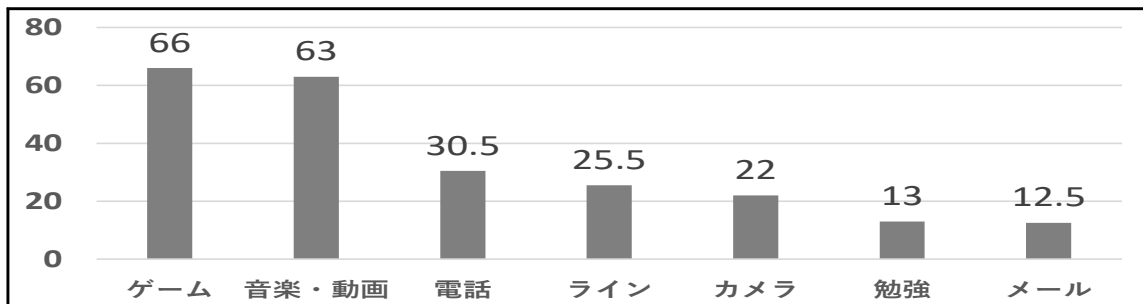
最近、「県内外で小学生がスマホやSNSのトラブルに巻き込まれる事案が急増！」という情報が入りましたので、朝の自習時間を利用して取組を行いました。NHK for schoolの「スマホ・リアル・ストーリー」というネット上の番組(10分×5回)を活用して、子どもたちに考えてもらいました。

ところで、本校の実態はどうなのでしょう。養護教諭の調べによると、以下のような結果です。

1 テレビ・ゲーム・スマホを平日どれくらい使いますか(%)？

1時間以下	1～2時間	2～3時間	3時間以上
24.0	33.5	24.5	18.0

2 よく使う機能やサービスは何ですか(%)？



3 自分専用のスマホ等を持っていますか(%)？

持っている	53.0
持っていない	47.0

結果を見ると、「平日でもメディアに触れている時間は長いなあ…」と思いました。別の調査項目から、「不眠」や「目の不調」を訴えている子が少なくとも2割以上いることから、対策が必要だと考えます。また、「多くの子がゲームに使っていること」は予測できますが、「動画・画像」「ライン・メール」などの「大人と変わらない」活用割合も多いことがわかります。さらに、半数以上が自分専用の機器を持っていることから、「私たち大人が見えていない世界」があるものと想像します。

「スマホ・リアル・ストーリー」は、次の内容です(ぜひ、親子で見てください。お勧めです！)

- 1 「無料ゲームのはずが…」 無料ゲームにのめりこみ、ついつい「多額の課金」をしてしまい…
- 2 「一度押しただけで…」 悪質サイトに入り、連絡先を教えることで「多額の請求」をされ…
- 3 「たった一言の違いが…」 通話アプリで言葉の使い方を誤ってしまい、「友達関係が変」に…
- 4 「知らない人とつながって…」 アプリで知らない人を信用してしまい、「不当な要求」をされ…
- 5 「送った写真の行方は…」 つい友達に送った写真を、「加工して拡散」されてしまい…

「情報モラル」の問題は、機器を与えてしまった「私たち大人の問題」です。しかも、特に難しいのは「大人の知識より子どもの知識がはるかに勝っている」ことです。子どもたちは、大人よりはるかに機器を使いこなしています。どうか、「ルールづくり」「フィルタリング」「機器のチェック」等を、改めてご家庭で確認していただけたらと思います。この問題は、特に「後悔先に立たず」です。